



代表者	代表取締役社長 清水 貴之	電話番号	077-545-3011
設立年	1959年	URL	http://www.nissinjpn.co.jp/
住所	滋賀県大津市月輪一丁目1番1号	従業員数	340人

## GNT 製品・サービスの名称と概要

製品名	小物精密プレス部品に特化したステンレス材の高品質(材料流動解析によりこれを実現)絞り部品
概要	①コイン電池用金属プレス部品(海外工場)及び②車載ABS用金属プレス部品(国内工場)の生産・販売

## GNT 製品・サービスの内容

①コイン電池用金属プレス部品については、約40年前、業界初リチウムイオンコイン電池の開発から関わり、量産販売を行い現在に至ります。品質面、コスト面で、長年に渡り改善活動を継続し、大量生産、低コストを実現する為、自社開発による専用生産ラインを海外工場に移管し販売しています。

②車載ABS用金属プレス部品については、海外のABS先駆けメーカーが、今から25年程前に、小物精密プレス部品を日本で調達を始めるに際し、技術力の高さ・海外拠点がある同社に声掛けし、受注に至りました。その後ABSの普及と共にグローバルに販売されることになり、現在では、自動検査機を用い内在する材料欠陥をも見逃さない、ゼロディフェクトのモノづくりに取り組んでいます。

それぞれ、ステンレス材を利用した高品質絞り部品で寸法要求精度が厳しく、また外観品位(キズ、打痕等)も厳しい基準が設けられています。コンタミ\*1規制もあり、部品の清浄度を上げるためにプレスから脱脂洗浄、梱包作業まで様々な改善を日々行っています。



リチウムイオン  
コイン電池部品



車載ABS  
ソレノイドバルブ用部品

## GNT 企業としての戦略・ビジネスモデル

同社は、今年創業61年目の小物精密プレス部品メーカーです。滋賀県に本社が在り、国内に3拠点(滋賀・岐阜・栃木)、海外に6拠点(中国3拠点：北京・南通・上海、シンガポール、インドネシア、アメリカ)の工場を展開しています。ステンレスの深絞り加工や、鉄・アルミ・銅の板鍛造、バリの出ない加工(ラウンドトリム®)により、他社との差別化を図っています。プレスの技術開発として常温での金属流動解析を、シミュレーション等によって行い、それに基づいた金型の自社設計・製作を行っています。高材料利用率を実現するトランスファー加工を得意としており、グループ企業で開発した、専用の量産プレス機を用い、高品質・低価格を実現させています。現在は自動車産業が100年に1度の変革期を迎え、CASE\*2関連機能部品の開発が盛んに行われています。同社もこの機会を逃さぬ様、得意技術を活かし、各種高機能製品の開発に尽力しています。また、コイン電池部品については、インドネシア工場で、量産販売を展開していますが、海外拠点の社員を国内工場へ迎え、OJTを実施し双方社員の国際感覚向上や、モチベーションUP、双方の地域社会への貢献等に役立っています。更に、社員の技能向上の為には、国家検定取得も推進しており、現在、国内社員の延べ人数で半数近く取得するまでに至りました。海外へは1989年から進出をしており、30年以上の経験があります。戦略を立て、海外工場による地産地消を推進し、SDGsや、グローバルでの地域社会への貢献に取り組んでいます。このような、人材育成戦略、技術戦略、生産設備戦略、地域戦略、等により、今回受賞した製品については、それぞれのグローバルシェアが20%以上となりました。引き続き、金属塑性加工の探求を継続し、お客様に喜んで頂き、社会に役立つ製品開発、量産販売に取り組んでいく方針です。

## 専門用語の説明

\*1・・・Contamination (異物混入)

\*2・・・Connected (コネクテッド) Autonomous (自動運転) Shared&Services (シェアリングとサービス) Electric (電動化) の頭文字を繋げたもの